



那珂川が氾濫し多くの被害が発生しました

10月12日、水戸市に接近した台風19号の豪雨により、藤井川など那珂川支流が氾濫し、水戸市飯富町一体は大洪水に襲われました。大きなホームセンターが、完全に水没してしまうような水量で、7mに達した所があったそうです。100名以上の方が救出されるなど、大変な事態となりました。あれから1ヶ月が経過しましたが、復旧作業が継続され、水戸市を上げて努力しています。隣接する水戸北スマートインターチェンジは、未だに開通できていません。こうした、那珂川支流の氾濫が各所でみられ、多くの被災者を出してしまいました。皆さんの家の近くに、このような河川はありませんか。今まで氾濫したことがない、そのような経験則は役に立ちません。お住まいの地域を再度確認してください。

乾電池回収しました



10月28日から31日まで、前号の予告通り、乾電池回収を行いました。今回気付いたのは乾電池に絶縁処理が施されているなど、管理の必要性が認識されつつあると感じました。回収内容は、単1→5個、単2→2個、単3→121個、単4→97個、ボタン電池、その他電池が9個で合計234個でした。前回同様、さびが発生している乾電池がありました。特におもちゃなど、長く使用しないで、入れたままにしておくで大変危険です。保管する場合は、乾電池を必ず外して、しまうことを忘れないようにお願いします。



環境管理者研修に参加しました



東京で行われた、環境管理者研修に参加しました。今回は、本年度から実施された、第7版対応審査で、特に指摘が多かった点などが指導されました。当社では指摘事項なしで、認証継続判定されましたが、他社で指摘された内容を聞くと、勘違いして覚えていることなどがあり、大変参考になりました。研修では、太陽光発電パネルを無償で設置し、発電した電気を売買する、新たなビジネスが開始されたことや、ある商社で、使用済みの電気自動車用蓄電池を大量に集め、それを廃棄する貨物列車のコンテナに搭載して、非常時の蓄電システムとして売りだされるなど、新電力に関して、様々な動きがあることを研修して来ました。



秋季火災予防運動実施中



令和元年度秋季全国火災予防運動が展開されています。水戸市消防本部から、特に放火に対する注意が来ています。社内では、廃棄物等、所定の場所以外に置いてはいけないうことになっていて、徹底されています。家庭でも、燃えやすいものなど、前日より放置しないよう、呼びかけています。従来から言われている、火の用心を忘れずに。当社の掲示板には、市内小中学生が作成した、火災予防ポスターが掲示されています。再確認をお願いします。



最高責任者のコメント ～ 廃棄物処分方法に関心を持つこと ～



当社で実施している、美化活動で、回収された廃棄物のモラルの低さに驚く。何度を説明している通り、プラスチックゴミがこれからの環境に、大きな影響を及ぼすことは、繰り返し説明してきた。廃棄プラスチックを受け入れていた、東南アジア諸国でも、受入を拒否するなど、廃棄物管理全体を考える必要がある。来年度から実施される、水戸市内のプラスチック分別事業なども、市民一人一人の意識が低ければ、意味をなさない。環境活動実施にあたっては、廃棄物を無視できない現状である。

今月の環境目標進捗状況



先月の環境目標は
すべての項目で
達成しました！



	今月の目標	今月の実績	今月の評価	本年目標累計	本年実績累計	累計達成率	全体評価
電気使用量削減(kwh)	12,894	11,847	(達成)	110,953	96,776	115%	↑
エコキャップ回収(個)	1,052	1,167	(達成)	6,590	8,558	130%	↑
美化活動実行(回)	1	1	(達成)	2	2	100%	↑
地域活動支援(回)	—	—	(達成)	1	1	100%	↑
廃棄物分別表(段階)	不燃物	不燃物(小)	(達成)	計画通り	計画通り	100%	↑

※上の写真は、11月4日に行われた水戸市制130周年記念大会の様子です。当日撮影しました。